



令和7年5月19日 第4号 文責：坂元 友佳



体験入学参加の計画を立てましょう

体験入学の案内が続々と届いています。こまめにタブレットや教室の体験入学ファイルを確認するようにしましょう。「百聞は一見に如かず」実際に自分の目で確かめることが一番です。体験入学を通して、気になる高校を比べてみることも大切ですね。

さて、第1回目の進路希望調査の提出がありました。その中の質問にお答えします。この他に、疑問や気になることがあればその都度、担任の先生に相談してください。



質問	回答
・推薦について詳しく知りたい。 ・〇〇高校の推薦の基準を教えてほしい。 ・どうすると推薦がもらえるのか。	・各高校で推薦基準が異なります。（※昨年度のものは教室のファイルやHPで見ることができます）まずは各高校のHPで該当項目があるか確認をしてください。（例：部活動の正選手で西三大会以上に出場など） ・「人物が優れている」「他の生徒の模範となる」という記載があります。日常生活での過ごし方を大切にしてください。 ・該当項目があり、中学校長から推薦された生徒のみ推薦入試を受けることができます。 ・第1志望とすることが大前提です。
・〇〇高校と△△高校の違いが知りたい。	・体験入学に参加して、実際に自分の目で確かめて比べることが一番です。学校の雰囲気を感じてきてください。
・自分のしているスポーツ競技が盛んな学校を知りたい。	・各学校の部活動体験に参加することをおすすめします。特にスポーツは学校によってプレースタイルが異なります。自分の得意なプレーが生かせるところを見つけていくことが大切です。
・資格やボランティアを内申書に書くことができるか。	・中学校から高校に送る書類の中に、資格（例：英検や漢検、毛筆検定など）やボランティア実績を記載します。後期に入ってから、資格等の確認を行います。どんな資格があるか、どのボランティアに参加したかなどを把握しておくとよいです。

「公立高等学校ガイドブック」の申し込みについて

3年生は各学級に1冊置くため、教室で自由に見ることができます。本日、チラシを配付しましたので、個人で購読をご希望の方は、封筒（各自で用意）に申し込み用紙を貼付し、お釣りの無いように1,500円を入れて担任の先生へ提出してください。公立高校の紹介が学校ごとに掲載されています。締め切りは5月27日（火）です。